



1. 事業についての全体としての総括

平成 29 年度は、事業計画書に基づき、2 章の「各事業分野での活動」に示したような活動を行ったが、これらの事業についての全体としての総括は次のとおりである。

(1) 市民ハイキング

市民ハイキング事業については、昨年度毎月 1 回実施した。季節に合わせたハイキングをいろいろと企画したが、参加者数は少ない時で 23 人（2 月の入笠山）、多い時で 44 人（9 月の白駒池からニュー）、平均すると 33.5 人であった。これまでの参加者数の推移を見てみると、20 年度は 40.1 人、21 年度は 46.3 人、22 年度は 36.6 人、23 年度は 33.8 人、24 年度は 38.1 人、25 年度は 33.8 人、26 年度は 31.3 人、27 年度は 31.9 人、28 年度は 33.1 人であり、この 3 年間、参加者数は漸増の状況となっている。

貸切大型バスの借料が大幅に高騰しており、昨年度は蒲桜観光の 39 人乗り中型バスを年間で利用した。39 人乗りバスでスタッフが 4 人の場合、35 人で満席になるため、昨年度は毎回ほぼ満席で市民ハイキングを実施していたことがわかる。毎年確認していることだが、市民ハイキングは会の活動への入口であり、新規参加者の多くが賛助会員になってくださり、次にワゴン車の旅に参加してくれるなど、会活動を広げていくための基礎的な活動となっている。そのことを念頭におき、会員の皆さんの声を聞きながら、今年度も魅力的なコース設定をして、39 人乗りバスを毎回満席にして実施できるよう努力していきたい。

(2) ワゴン車の山旅

昨年度、会員向けのワゴン車の山旅は、上野司、上野はるかをスタッフの中心とし、バラエティに富んだ企画が数多く行われた。年間 59 回実施し、参加者総数は 749 人、1 回平均 12.7 人であった。28 年度は、年間 59 回、参加者総数 614 人、1 回平均 10.4 人、27 年度は、年間 44 回実施、参加者総数は 435 名、1 回平均 9.9 人、26 年度は、年間 55 回実施し、参加者総数は 532 名、1 回平均 9.7 人であったから、参加者総数、1 回平均の参加者数、いずれでも増加となった。満席に近い状態で催行した企画も多く、事業収支としても、大幅に増加した昨年度を更に上回る形となった。今年度も、バラエティ豊かな企画を立て、満席に近い形で実施することで、会員の皆さんの山登りの要望に広く応えていくとともに、安定した事業収益を確保していきたい。

(3) 冒険教室

冒険教室については、昨年度は年 3 回実施した。活動内容は、障害児の交流ハイキングが春・秋の 2 回、そして春休みのスキー教室の計 3 回である。もともと、会員からの口コミで参加される方が多かったが、スキー教室については、小中学生の参加が少なくなってきたことから、大人のスキー好きの皆さんにも広く呼びかけて実施している。今年度も、毎年 3 回のイベントをよく宣伝し、しっかりと実施していくことが重要であろう。

(4) クラブハウス

クラブハウスは、一昨年度より、月曜日と金曜日の午前中は事務活動、午後は会員の交流スペースとして運営してきた。昼のランチは、ここ数年、料理担当者の事情もあり、オープンできる日が少ない状態になっていたが、本年 1 月からランチの提供をとりやめることとした。

一方、交流スペースで始めた山の映画上映会を合わせ、クラブハウスを会場に行われている絵手紙教室、歌声喫茶、各種懇親会などのイベントには、毎回楽しみに参加して下さる方々も多く、会員や地域の皆さんのよき集

いの場所となっている。

(5) スポーツ教室

私たちは、2011年3月、埼玉県内で60番目の総合型スポーツクラブとして認定され、活動を開始したが、現在、クライミング教室、ヨガ教室、スポーツ吹き矢教室、トレーニング教室の4つを開講している。どの教室も毎回10名近い参加者で賑わっているが、とりわけスポーツ吹き矢教室は、教室としての合宿や懇親会もたびたび行い、講師を含めた参加メンバーが楽しく交流しながら教室運営を続けている。

現在は、スポーツ活動に対するtotoの助成金も頂いており、会の活動を財政的に支える大きな力にもなっている。今後も、活動を支援する体制を整備しながら、活動内容の充実や活動種目の増加に力を入れていきたい。

(6) アルパインクラブNPOさいたま

山行企画を充実させ、会員の様々な山行の要望に答えていくために、質量ともスタッフの充実が課題であり、リーダー・スタッフ集団である「アルパインクラブNPOさいたま」の果すべき役割は大きい。やる気のある新入会員の獲得に努めながら、現会員のレベルアップも図り、親しみやすく、力のあるリーダー・スタッフ集団を作り上げていくことが課題である。

(7) 事務・広報活動

昨年度も、上野はるかさん、布施倫子さん二人の事務員を置き、継続的に仕事をしていただくことで、会報の作成や会計事務の充実をはかることができた。また、小澤幸子税理士に税務事務をお願いし、会計上、税務上の相談にのっていただいた。

広報活動の面では、駅ポスターと広報への掲載をもれなく行うことができた。現会員からの紹介で入会してくれる方も少なからずいるので、月に一度の会報とワゴン車予定表の作成も重要な広報活動になっている。

2. 各事業分野での活動

(1) 市民ハイキング

	事業内容	実施日	実施場所	従事者 人数	参加者 人数	支出額 (千円)
1	市民ハイキング	4月9日	新倉山	4	43	87
2	市民ハイキング	5月20日	霊山たけやま	4	34	44
3	市民ハイキング	6月10日	日光半月山	4	36	57
4	市民ハイキング	7月13日	日光霧降高原から丸山	4	27	54
5	市民ハイキング	8月26日	八ヶ岳八子ヶ峰	4	32	65
6	市民ハイキング	9月23日	白駒池からニュー	4	44	96
7	市民ハイキング	10月24日	塩原富士	3	34	63
8	市民ハイキング	11月12日	妙義山中間道	4	33	41
9	市民ハイキング	12月9日	行道山から足利の里	4	28	51
10	市民ハイキング	1月14日	長者ヶ岳	4	32	74
11	市民ハイキング	2月18日	入笠山	4	23	79
12	市民ハイキング	3月17日	筑波山と梅まつり	3	36	58

(2) ワゴン車の山旅

	事業内容	実施日	実施場所	従事者 人数	参加者 人数	支出額 (千円)
1	ワゴン車の山旅	4月4日	身延山久遠寺	2	14	77
2	ワゴン車の山旅	4月11日	日向山	2	8	30
3	ワゴン車の山旅	4月13日	茅ヶ岳と神代桜	2	14	70
4	ワゴン車の山旅	4月20日	碧岩・大岩	2	12	41
5	ワゴン車の山旅	4月25日	雪の月山	2	8	66
6	ワゴン車の山旅	4月27日	大楠山と海軍カレー	2	8	56
7	ワゴン車の山旅	5月9日	笠丸山	2	13	46
8	ワゴン車の山旅	5月11日	残雪の乗鞍岳	2	10	92
9	ワゴン車の山旅	5月16日	戸隠高原周遊	2	6	41
10	ワゴン車の山旅	5月25日	天城山	2	24	112
11	ワゴン車の山旅	5月31日-6月1日	甲武信岳	2	12	188
12	ワゴン車の山旅	6月6日	笠取山	2	8	37
13	ワゴン車の山旅	6月13日	天丸山と帳付山	2	7	25
14	ワゴン車の山旅	6月15日-6月18日	利尻岳と礼文島	2	7	924
15	ワゴン車の山旅	6月22日	雁ヶ腹摺山	2	12	52
16	ワゴン車の山旅	6月27日	蔵王山	2	18	164
17	ワゴン車の山旅	7月4日	オドケ山・御荷鉢山	2	8	30
18	ワゴン車の山旅	7月7日-9日	白山・荒島岳	2	18	744
19	ワゴン車の山旅	7月11日	恩賀高岩山	2	12	49
20	ワゴン車の山旅	7月20日	大峠から流石山	2	16	74
21	ワゴン車の山旅	7月22日-25日	雲ノ平・高天原・黒部源流	2	7	353
22	ワゴン車の山旅	8月1日	八海山	2	7	67
23	ワゴン車の山旅	8月3日	国師岳・北奥千丈岳	2	8	55
24	ワゴン車の山旅	8月5日-7日	槍ヶ岳	3	21	791
25	ワゴン車の山旅	8月10日	乗鞍岳	2	15	140
26	ワゴン車の山旅	8月17日	苗場山	2	13	118
27	ワゴン車の山旅	8月22日	清里高原・飯盛山	2	6	55
28	ワゴン車の山旅	8月30-31日	飯綱山・高妻山	2	7	90
29	ワゴン車の山旅	9月5日	榛名天狗山	2	15	48
30	ワゴン車の山旅	9月9日-10日	平ヶ岳	2	26	621
31	ワゴン車の山旅	9月14日	大菩薩嶺	2	15	60
32	ワゴン車の山旅	9月20日-21日	谷川岳馬蹄形縦走	2	7	53
33	ワゴン車の山旅	9月28日	草津白根山	2	14	62
34	ワゴン車の山旅	10月5日	那須朝日岳と茶臼岳	2	15	61
35	ワゴン車の山旅	10月7日-10日	早池峰山・八甲田山・岩木山	3	19	911

36	ワゴン車の山旅	10月17日	雨飾山	2	25	145
37	ワゴン車の山旅	10月26日	大源太山	2	15	63
38	ワゴン車の山旅	10月31日	高ボッチ山と鉢伏山	2	23	130
39	ワゴン車の山旅	11月7日-8日	雲取山	2	28	499
40	ワゴン車の山旅	11月16日	檜洞丸	1	8	33
41	ワゴン車の山旅	11月21日	南天山	2	12	46
42	ワゴン車の山旅	11月30日	高座山と杓子山	2	13	64
43	ワゴン車の山旅	12月5日	桐生アルプス	2	14	55
44	ワゴン車の山旅	12月7日	表妙義縦走	2	8	33
45	ワゴン車の山旅	12月12日	茂来山	2	13	56
46	ワゴン車の山旅	12月19日	雪の浅間黒斑山	2	8	37
47	ワゴン車の山旅	12月21日	岩戸山	2	10	67
48	ワゴン車の山旅	1月11日	鎌倉アルプス縦走	2	15	78
49	ワゴン車の山旅	1月16日	鹿俣山	2	12	41
50	ワゴン車の山旅	1月25日	雲竜溪谷	2	11	45
51	ワゴン車の山旅	2月1日	日光切込刈込	2	11	42
52	ワゴン車の山旅	2月6日	三浦アルプス縦走	2	16	99
53	ワゴン車の山旅	2月8日	房総・御殿山	2	5	36
54	ワゴン車の山旅	2月13日	村上山	2	8	35
55	ワゴン車の山旅	2月20-21日	踊り子歩道と河津桜	2	11	233
56	ワゴン車の山旅	2月27日	湯河原幕山と南郷山	2	7	29
57	ワゴン車の山旅	3月13日-14日	八ヶ岳スノーハイク	2	15	244
58	ワゴン車の山旅	3月20日	那須三本槍ヶ岳	2	9	59
59	ワゴン車の山旅	3月27日	金冠山と達磨山	2	13	61

(3) 冒険教室

	事業内容	実施日	実施場所	従事者 人数	参加者 人数	支出額 (千円)
1	冒険教室	2018年6月11日	筑波山	3	22	127
2	冒険教室	9月30-10月1日	福島ではせかけと稲刈り	4	13	190
3	冒険教室	3月31日-4月1日	春のスキーin尾瀬岩鞍	2	8	11

(4) クラブハウス

- * 絵手紙教室 毎月第3火曜日 10:00~12:00
- * うたごえ 毎月第3金曜日 18:30~21:00
- * 虹の発送、月例懇親会 毎月末 16:00~20:00
- * 山の映画会 毎月第3月曜日 13:00~15:30

(5) スポーツ教室

- ① 室内クライミング教室

加須市民体育館の室内壁を利用しながら、毎週1回教室を開催している。講師は高橋豊氏にお願いし、グレード10aの壁をリードクライミングできる力をつけることを目標にしている。

② ヨガ教室

文化センターを会場に、毎週1回、教室を開催している。講師は朴の木先生にお願いしている。毎週10人くらいの皆さんが、ヨガを楽しんでいる。

③ スポーツ吹き矢教室

毎週1回、文化センターを会場に、長澤守さんを講師に教室を開催している。月ごとの登録で活動しており、現在10名を超える皆さんが参加している。

④ トレーニング教室

毎月1回、文化センターで、「トレーナーズルーム」主宰者の笠井康平さんを講師に、「85歳まで元気に山に登り続けるために」を合言葉に、各種筋力トレーニングに励んでいる。

(6) 事務・広報活動

①カラー刷りの会報「虹」を、月刊でNo143～154まで発行し、各会員・関係者に配布した。また、近々のイベントの案内もニュースに同封され、参加者募集活動の大きな力となった。

②市の広報を利用した活動として、市民ハイキングについては北本市と鴻巣市に参加者募集の掲載を依頼した。

③この他の広報活動として、活動紹介のポスターを駅に掲示した。

④HPの更新とtwitterで各山行の様子を日々更新したことで、それらを見て会を知り入会する人が増えてきた。

⑤スポーツ教室のカラーチラシを作成して配布した。

3. 組織活動

会員数は前年度に比べ、若干の減少をしているが、参加意欲の旺盛な積極的な会員が多く在籍している点はプラスに評価できる。高齢化や体調不良から「皆に迷惑をかけたくない」などの理由で退会していかれる方は未だ一定数いらっしゃるが、新しく市民ハイキングを通して会活動に参加する方も増えており、今後も会員数の拡大を目指して努力を続けていく。

(1) 会員は、期末現在で、正会員が41名、賛助会員が216名となった。

(2) 理事会は、規程の変更が必要な場合などに随時行い、事業活動全般について検討した。

(3) 山行企画は、会員の要望を積極的に吸い上げながら、リーダーグループで構成する山行企画会議で内容を練り上げている。

(4) スポーツ教室の運営については、月1回定期的で開催している「スポーツ教室運営委員会」において、各教室の状況を報告しあい、活動の改善点を話し合ったり、教室間の調整を行ったりしている。

(5) クラブハウスの運営については、月1回定期的で開催している「クラブハウス運営委員会」において、様々な問題を議論し、相談する体制をとっている。

◆平成29年度決算

平成29年度 活動計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人 さいたま山に親しむ会

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	246,000	
賛助会員受取会費	506,000	752,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	161,700	161,700
3 受取助成金等		
toto基盤強化助成金	0	
totoクラブマネージャー助成金	1,917,000	1,917,000
4 事業収益		
子ども向け野外活動事業収入 (冒険教室)	447,000	
中高年向け野外活動事業収入	13,364,800	
市民ハイキング事業収入	1,801,650	
クラブハウス事業収入	788,950	
スポーツ教室事業収入	436,500	
その他必要事業収入	106,500	16,945,400
5 その他収益		
雑収入	10,000	
受取利息	172	10,172
経常収益計 (A)		19,786,272
II 経常費用		
1 事業費		
(1)人件費		
給料手当	3,594,000	
謝金	2,407,000	
法定福利費	722,634	
人件費計	6,723,634	
(2)その他経費		
仕入高	408,430	
印刷費	158,324	
旅費交通費	7,014,113	
通信費	3,854	
水道光熱費	167,305	
消耗品費	158,462	
支払保険料	400,520	
入浴料	544,700	
遊興食材費	560,973	
賃借料	270,000	
会場費	86,200	
租税公課	153,600	
減価償却費	253,891	
雑費	152,557	
その他経費計	10,332,929	
事業費計		17,056,563
2 管理費		
(1)人件費		
給与手当	754,000	
謝金	209,600	
人件費計	963,600	
(2)その他経費		
印刷費	221,234	
交通費	24,000	
通信費	273,227	
水道光熱費	123,694	
備品消耗品費	46,446	
修繕費	15,552	
賃借料	317,000	
会議費	32,618	
租税公課	370,000	
雑費	116,017	
その他経費計	1,539,788	
管理費計		2,503,388
経常費用計 (B)		19,559,951
①当期経常増減額 (A-B)		226,321
②前期繰越正味財産額		2,248,891
次期繰越正味財産額 (①+②)		2,475,212

平成29年度 「特定非営利活動に係る事業」会計 貸借対照表

平成30年3月31日 現在

特定非営利活動法人 さいたま山に親しむ会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金及び預金	1,720,902		
未収入金	945,000		
前払費用	164,650		
流動資産合計		2,830,552	
2 固定資産			
車両運搬具	2,795,852		
固定資産合計		2,795,852	
資産の部合計			5,626,404
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,210,192		
前受金	1,941,000		
預り金	0		
流動負債合計		3,151,192	
負債の部合計			3,151,192
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,248,891	
当期正味財産増加額		226,321	
正味財産の部合計			2,475,212

平成29年度 「特定非営利活動に係る事業」会計 財産目録
平成30年3月31日 現在

特定非営利活動法人 さいたま山に親しむ会

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	現金手許有高		1,348,958
普通預金	武蔵野銀行	176,238	
普通預金	ゆうちょ銀行	29,026	
普通預金	ゆうちょ銀行(振替口座)	39,396	
普通預金	埼玉懸信用金庫	127,284	
普通預金	埼玉懸信用金庫(定期)	0	371,944
未収入金	助成金	945,000	945,000
前払費用	航空券	43,000	
前払費用	支払保険料	69,850	
前払費用	会場費	51,800	164,650
流動資産合計			2,830,552
2 固定資産			
車両運搬具	ハイエースワゴン		2,795,852
固定資産合計			2,795,852
資産の部合計			5,626,404
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	電話代	4,093	
未払金	水道料金	5,140	
未払金	プロバイダー管理料	2,592	
未払金	コピー代	1,944	
未払金	不足保険料	12,330	
未払金	宅配便料金	17,633	
未払金	車両運搬具 ローン本体分	962,743	
未払金	車両運搬具 ローン利息分	75,457	
未払金	社会保険料	128,260	1,210,192
前受金	正会員会費	190,000	
前受金	賛助会員会費	356,000	
前受金	ワゴン車の山旅参加費	1,395,000	1,941,000
預り金	給与に対する源泉税		0
流動負債合計			3,151,192
負債の部合計			3,151,192
正味財産			2,475,212

計算書類の注記

重要な会計方針

活動計算書の作成は、NPO法人会計基準(2011年11月20日 NPO法人会計基準協議会)によっています。

事業別損益の状況

(単位：円)

科目	冒険教室	中高年向け	市民ハイキング	クラブハウス	スポーツ教室	その他	事業部門計	管理部門計	合計
I 経常収益									
1. 受取会費							0	752,000	752,000
2. 受取寄附金							0	161,700	161,700
3. 受取助成金等					1,917,000		1,917,000		1,917,000
4. 事業収益	447,000	13,364,800	1,801,650	788,950	436,500	106,500	16,945,400		16,945,400
5. 雑収入					10,000		10,000		10,000
6. 受取利息							0	172	172
経常収益計	447,000	13,364,800	1,801,650	788,950	2,353,500	106,500	18,862,400	913,872	19,786,272
II 経常費用									
(1) 人件費									
給料手当					3,594,000		3,594,000	754,000	4,348,000
謝金	77,000	1,338,000	281,000	195,000	516,000		2,407,000	209,600	2,616,600
法定福利費					722,634		722,634		722,634
人件費計	77,000	1,338,000	281,000	195,000	4,832,634	0	6,723,634	963,600	7,687,234
(2) その他経費									
仕入				408,430			408,430		408,430
印刷費					129,924	28,400	158,324	221,234	379,558
旅費交通費	274,381	6,499,292	159,440		81,000		7,014,113	24,000	7,038,113
通信費		3,854					3,854	273,227	277,081
水道光熱費				139,182	28,123		167,305	123,694	290,999
消耗品費		79,951		6,748	2,505	69,258	158,462	46,446	204,908
支払保険料	9,176	327,967	16,451	10,500	34,847	1,579	400,520		400,520
修繕費								15,552	15,552
入浴料	13,500	302,420	228,780				544,700		544,700
遊興食材費	56,000	283,168	75,781	65,286		80,738	560,973		560,973
賃借料				90,000	180,000		270,000	317,000	587,000
会場・会議費					85,200	1,000	86,200	32,618	118,818
租税公課		153,600					153,600	370,000	523,600
減価償却費		253,891					253,891		253,891
雑費		128,037	7,584	16,936			152,557	116,017	268,574
その他経費計	353,057	8,032,180	488,036	737,082	541,599	180,975	10,332,929	1,539,788	11,872,717
経常費用計	430,057	9,370,180	769,036	932,082	5,374,233	180,975	17,056,563	2,503,388	19,559,951
当期経常増減額	16,943	3,994,620	1,032,614	△ 143,132	△ 3,020,733	△ 74,475	1,805,837	△ 1,589,516	226,321

使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳(正味財産の増減及び残高の状況)は以下の通りです。

(単位：円)

内訳	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
toto基盤強化助成金	0	0	0	0	
totoクラブマネージャー助成金	0	1,917,000	0	1,917,000	
合計	0	1,917,000	0	1,917,000	

借入金を増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
役員借入金	200,000	0	200,000	0
合計	200,000	0	200,000	0

固定資産を増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価格	取得	減少	期末取得価格	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
車両運搬具	0	3,049,743		3,049,743	△ 253,891	2,795,852
合計	0	3,049,743	0	3,049,743	△ 253,891	2,795,852

前期繰越正味財産額 2,248,891円 + 当期経常増減額 226,321円 = 次期繰越正味財産額 2,475,212円